

「85年目のコピサイズ」 「見ないで感じる美術館」 の開催について

ポイント

- コピーのための機械である**コピー機**を使って、**世界に一つだけの作品を作ることができる！**
- 展示室内で大声を出したり、走ったりなど、**閉館している今だからこそできる体験**。一生に一度の体験をぜひ！！
- 美術館とはなにか**、を考える機会！美術館を見る目が変わるかも？

この度、京都市美術館では、再整備工事のために閉館している本館を利用して、ワークショップを行います。これは、全8回のワークショップシリーズ「私の京都市美術館」の第5・6回目として開催するものです。引き続き、再整備中においても、年間を通じて様々な角度から美術館の魅力を紹介します。



Vol.5では、コピー機で独創的な作品を作成



Vol.6では、閉館した本館展示室を利用

京都市美術館ワークショップ 2017「私の京都市美術館」

テーマ	①Vol.5「85年目のコピササイズ」	②Vol.6「見ないで感じる美術館」
内容	美術館内の壁や扉、資料や備品などをあらゆる方法で「採取」し、それらを素材として、コピー機を使ったコラージュ作品を作ります。コピー機を創作のための道具として使い、美術館の歴史・空間を凝縮したような作品作りを体験します。	美術館では本来禁止されている、大声を出す、展示室内を走るなどの行為を、閉館した本館内で実際に体験してもらい、なぜそのような行為が禁止されているのか等、美術館とは何かを考えます。
講師	ザ・コピー・トラベラーズ（加納俊輔、迫鉄平、上田良）（美術作家）	岡本光博（美術作家）
日時	10月28日（土） 10時～16時（お昼休憩あり）	11月4日（土） 13時～16時
会場	本館南展示室	本館展示室
対象	小学4年生以上	中学生以上
定員	15人	20人
料金	無料	

※ コピササイズとは「コピー」＋「エクササイズ」を意味するザ・コピー・トラベラーズによる造語であり、コピー機の上で平面や立体物など様々な物を入れ替えてはコピーを繰り返すという行為を表したものです。出力されるまで出来あがりのイメージが予想できない面白さがあり、また素早く即興的に行うことで思いもよらぬ複雑なイメージが出来あがる、ザ・コピー・トラベラーズのオリジナル手法。

○ 申し込み方法

はがき、FAX、Eメールのいずれか（郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望のワークショップ番号を明記）にてお申し込みください。※多数抽選

○ 締切 ①10月18日(水)まで ②10月25日(水)まで（いずれも当日消印有効）

○ 申込先

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124番地

京都市美術館ワークショップ係

TEL 075-771-4107

FAX 075-761-0444

メール bijutsukan@city.kyoto.lg.jp

【参考】市美術館の再整備について



京都市では、創設以来80年以上の長きにわたり、我が国の文化芸術を牽引してきた京都市美術館を、将来にわたり、市民に愛され世界に誇れる美術館としていくため、再整備に向けた取組を推進中。平成31年度内のリニューアルオープンを目指します。